

会長コラム

レジャー・レクリエーション・スポーツ^{よもやまばなし}四方山話 ~その7~あなた自身の余暇(レジャー)の活動内容の深まりと広がりへの追求と探求
～趣味化傾向形態の活動と多角的嗜好形態の活動の見える化に向けて～

キーワード(Key Words):

1. 余暇とその3つの機能^{はたらき}
2. 趣味の諸要素と趣味としての決定
3. 趣味化傾向形態の活動
4. 多角的嗜好形態の活動
5. アボケーション(Avocation=趣味的活動と実益的活動とが交じり合う活動^まあ)

ワークライフバランスとは、仕事と私生活とのバランスを意味する言葉で、その私生活の中に余暇(レジャー)の活動が存在する。

一方余暇活動が私生活の中にあるからこそ、自由裁量の時間であり、活動である。他方余暇活動が自由であるからこそ、その活動に自己の責任も問われる。

何が最も好ましい余暇活動なのか、また何が素晴らしい余暇なのかは、正解を求めることは難しいばかりでなく、むしろ正解などはないといえる。一人ひとりの人生の中で、その時々「より良き活動」として選択されているからである。

あなた自身の余暇(レジャー)活動は、どのような機能を持ち、またどのような活動の形態に基づくものなのか、さらに趣味との関係はどのようになっているかなどを解き明かし、知ることによって自身の現在の余暇(レジャー)活動が“どのようなもの”なのかを知る手助けになる。そのために上述のキーワードの再認識や理解が欠かせない。

人間の活動を一次の活動から三次の活動として区別することができる。一次の活動は、生理的に必要な活動であり、睡眠、食事、身の回りの事柄など、人が生きていくうえで不可欠の活動であり、二次の活動は、義務的で仕事の活動であり、家事、通勤、通学、仕事などで社会生活を営む上で義務的な性質の強い活動で、育児や介護も含まれる。そして三次の活動は、自由に使える時間でありそこに生起するものが余暇活動である。

これらの一次や二次の活動であっても、工夫や意識を変えることで余暇化(Leisurelization)することができる。例えば、通勤時の交通機関の利用を歩行に変え、自身の健康づくり、体力づくりに役立てようとするればそれは半拘束的な状態を自由裁量化し、余暇化したことに他ならない。

余暇とは、決して余った暇などではなく、むしろ創りあげていく自由裁量の時間や活動であり、義務的な意識のもとでなされるものではない。

余暇には3つの機能があり、まず、休息・休養などは「回復機能」で、体力の回復や疲労の回復のはたらきになる。次に気晴らしや娯楽などの「発散機能」、そして自己啓発やボランティア活動を含む社会参加の活動などの「蓄積機能」である。

これらの機能は必ずしも単独で常に見れるものとは限らず、時には2つの機能が組み合わせ(カップリング)化されたり、混ぜ合せ(カクテル)化されたりした活動としても現れてくる。また3つの機能は趣味の中にも包含されてくる。趣味とは何かと言えば、好きで楽しくおもしろい事柄の追求や探求で、それらの活動は反復的かつ継続的に実行されるものである。ただし、趣味であるか否かの判断や決定は、その本人が趣味と認識し、それが自身にとって趣味であると決めなければ趣味とはならない。余暇活動の中には図1に示すように「広がりとしての多角的嗜好形態の活動と深まりとしての趣味化傾向形態の活動」が存在する。この2つの形態に優劣はない。

あなたの人生を豊かにし、生き甲斐の創造も可能にする余暇活動を善用するには、余暇の3機能、趣味のあり様を再考するとき、図2「生き甲斐づくりに資する豊かな余暇活動の深まりと広がり」に求められる構成要素」に思いを馳せ、趣味的活動と実益的活動とが交じり合う“アボケーション”も余暇生活の中に積極的に組み入れていきたいものである。

このアボケーション(Avocation)を英和辞典で繙くと、副業などとも訳されているが、本来の意味は、AvocationのAは接頭辞であり、反、否、離、非などを意味する接頭語(Prefix)である。Vocationは天職を意味している。

このことから、本来の天職からは通常離れることはないのだが、A(接頭辞)が付くことで、「離れる」という意味から副業などと意識されてしまうこととなる。

実際には副業などではなく、本来の仕事ではないものの趣味的活動と実益的活動とがしっかりと含まれている活動であり、余暇活動の中で社会貢献活動、ボランティア活動などもその中に含まれる。実益的とは金銭を求めることが中心ではなく精神的報酬なども含まれている。

如上の意味から、あなた自身の豊かな余暇活動を創造し、「見える化」していくために、図2で示す通り「生き甲斐を創造できる豊かな余暇活動の実現に求められる諸要素の交じり合い」が多岐に包摂された活動を追求し探求していききたいものである。



一般財団法人 かながわパラスポーツ協会 会長
社会福祉法人 磯子コスモス福祉会 理事長

鈴木 秀雄

(関東学院大学 名誉教授、学術博士、Ph.D.)

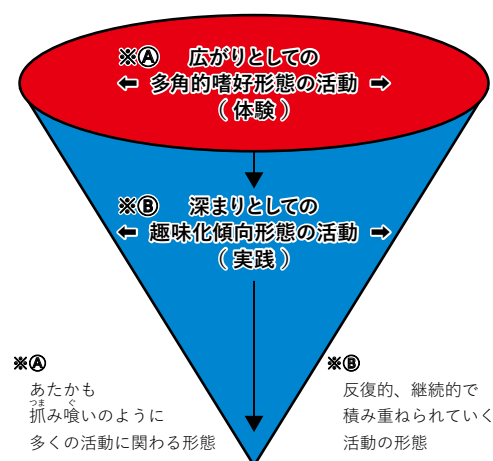


図1. 余暇活動の中に現れる多角的嗜好形態の活動と趣味化傾向形態の活動

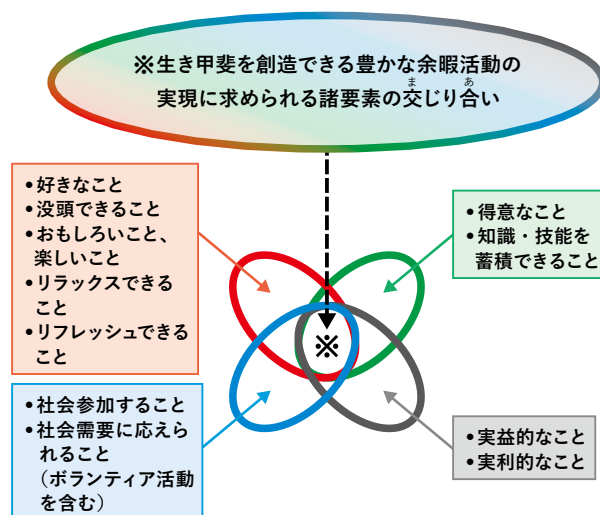


図2. 生き甲斐づくりに資する豊かな余暇活動の深まりと広がり」に求められる構成要素